



今月号の
テーマ

取組の柱2 業務改善の更なる推進 「GIGAスクール構想の下での校務DX化を推進するために何をすべきか」

働き方改革の目的は、「働き方の改善により教師が学ぶ時間を確保し、自らの授業を磨くこと」等を通じて、**子供たちにより良い教育を存分に**行うことができるようにすることです。

教員が児童生徒と向き合うための時間を確保するためには、校務全般をデジタルによって効率化し、負担を軽減していくことが必要となっています。

GIGA環境・汎用クラウドツールの一層の活用

- 十分ではないところは「授業からではなく、まずは校務から」
→クラウド化で便利になる感覚をつかもう！
- 情報担当や得意とする教員
→管理職とタッグを組み、組織的に推進していこう！



学校内の連絡のデジタル化

職員会議において

- ・ペーパーレス化
- ・情報の事前共有
- ・ハイブリッド開催
(対面・オンライン)

日々の業務において

- ・職員間の連絡、情報共有
- ・教材の共有
- ・行事や施設の予約
- ・授業研究や研修

具体のイメージ・期待される効果等(例)

研修動画のアーカイブ化により、各々の都合の良いタイミング・場所で受講可能とすることで、より多くの教職員に研修機会を提供できるとともに働き方改革につながることを期待できます。

【参考】独立行政法人教職員支援機構Website (<https://www.nits.go.jp/materials/>)

【参考】StuDX Style (<https://www.mext.go.jp/studxstyle/>)

クラウドサービス等で取り組みたい項目チェックリスト

教員と児童生徒間の連絡等のデジタル化

国(文科省学校デジタルPT)より示された今後の方向性です！

端末の家庭での利用

各種連絡

調査・アンケート

宿題(デジタル教材)

小テストや定期テストのCBT化

具体のイメージ・期待される効果等(例)

1人1台端末を児童生徒が家庭で利用できるようにすることで、児童生徒への各種連絡や宿題・家庭学習・課題の作成・採点のデジタル化等が可能となり、教職員の負担軽減が期待できます。

教員と保護者間の連絡のデジタル化

遅刻・欠席連絡

調査・アンケート

配布物・連絡事項

問い合わせ

提出資料

日程調整

※学校説明会のオンライン開催や時間に来れない方に対応するためのオンデマンド化、また、保護者面談のオンライン化も有効な活用です。

具体のイメージ・期待される効果等(例)

ワークスペース、フォーム、Forms等を活用することで、書類の紛失、渡し忘れもなくなり、回収にかかる時間が大幅に短縮され、教職員の負担軽減が期待できる上に保護者の負担軽減にもつながります。

【引用参考】GIGAスクール構想の下での校務DX化チェックリスト(令和5年12月)

文部科学省初等中等教育局 学校デジタル化プロジェクトチーム

学校全体で「情報を適切に使いこなす能力」を高めることも重要！

校務DXは「教員の働きやすさ」と「教育活動の一層の高度化」を目指すものです。
学校や保護者・地域の実情に応じて、新年度からの取組を検討してください。

全国実施結果
はこちら

